

床版取替の現場を見学

九頭竜湖沿い 小子馬巢谷橋劣化

県コンクリート診断士会

福井県コンクリート
診断士会（山川博樹会
員と、行政担当者も含
む約40人が参加した。
場所は、
山間部の大
野市下半
同橋は、架橋後53年
が経過し、近
年劣化が顕
著。法定点検
や、パトロー
ルを展開した
が、19年10月
28日に床版陥
没約口50センチ
×
50センチが発生。
アドバイザリ
ーボード制度
△湖周辺で60年代のほ



床版撤去状況を確認する会員ら＝大野市下半原



野市下半
同橋は、架橋後53年
が経過し、近
年劣化が顕
著。法定点検
や、パトロー
ルを展開した
が、19年10月
28日に床版陥
没約口50センチ
×
50センチが発生。
アドバイザリ
ーボード制度

（立合者・谷脇福井工
業大学教授）による工
法検討後、同年11月1
日に緊急補修し、翌日
には供用再開。本橋南
側に仮橋を設置し、本
橋既設床版の撤去を行
う状況。

（大野道路課大野西部
グループ）、川口主事
が担い、また既設床版
の劣化原因等は士会の
石川幹事が紹介した。
質疑応答も交わし、最
後に、士会の江波副会
長が施工者である長崎
組の協力に感謝し、閉
会挨拶した。

今研修では、床版の
撤去状況である高欄撤
去、床版切断、橋面舗
装撤去、1・2次破碎、
ブロック撤去、けた上
破碎、伸縮装置撤去な
どを中心に見学。コア
抜き中性化の試験によ
る、既設の床版状態も
確認した。写真。

劣化の原因として、
凍結防止剤によるAS
R（アルカリ骨材反応）
など、様々な要素が複
合したためと想定。ダ
ム湖周辺で60年代のほ
ぼ同時期に架設された
他の橋梁にも同様な劣
化が考えられ、今後の
維持管理計画を進める
上で、有益な参考事例
としている。

概要説明は、発注者
の県奥越土木事務所
（大野道路課大野西部
グループ）、川口主事
が担い、また既設床版
の劣化原因等は士会の
石川幹事が紹介した。
質疑応答も交わし、最
後に、士会の江波副会
長が施工者である長崎
組の協力に感謝し、閉
会挨拶した。

この後、希望者で下
流側、子馬巢谷橋の過
年度床版取替後を視察
した。士会の出口監査
役が、箱ヶ瀬橋の説明
も行っている。